

第4次八戸市男女共同参画基本計画2次案に対する
事前質問・意見一覧

No.	内容	担当課
1	<p>【P8～P9 施策の体系】 施策の体系を1次案の表からフローチャートに変更したことにより、目標から施策までの流れが理解しやすくなった。</p> <p>【回答欄】 引き続き、わかりやすい計画の策定に努めてまいりたい。</p>	市民連携推進課
2	<p>【全体の「施策の基本方向に掲げられている注目指標」】 表中にある注目指標が「H33」になっているが、第6次総合計画では同様の注目指標が「H32」のデータになっている。「言葉の周知度」などはアンケート調査が必要と思うが、毎年データを取るということか？</p> <p>【回答欄】 本計画の計画年度が平成33年度までのものであるため、平成33年度に目指すべき目標値として設定している。 アンケート調査は、毎年ではなく、5年毎に実施予定であり、次回は平成32年度を予定している。</p>	市民連携推進課
3	<p>【P8 施策の体系】 1 固定的な性別分担意識 → 1 固定的な性別役割分担意識 ではないか？</p> <p>【回答欄】 固定的な性別役割分担意識であるため、修正することとしたい。</p>	市民連携推進課
4	<p>【P15、P30】 学校教育にデートDVが含まれているのか、それとも男女間の暴力防止と被害者支援に含まれているのか 学校教育にもデートDVの記載があったほうが良いのではないか。</p> <p>【回答欄】 〈子育て支援課〉 平成24年度にDV防止基本計画を策定し、デートDVを含めた男女間の暴力防止の啓発活動や被害者の支援に取り組んでいる。 〈教育指導課〉 教育・学習分野については、義務教育（小中学校の教育）を中心に書いており小中学生の発達段階から、男女共同参画の視点でのキャリア教育や人権教育を中心に行っている。また、中学生を対象とした「いのちを育む教育アドバイザー」（事業No.14）による講演会の男女の健全な交際等の内容の中で、DVやデートDVにも触れる機会があり、この事業を通して子どもたちへの啓蒙を図ってまいりたい。</p>	子育て支援課 教育指導課
5	<p>【P16 No.16、No.18】 生涯学習の推進で、市民大学講座では男女共同参画のテーマであることを明確にして実施している。 鷗盟大学や公民館講座では、どのようになっているのか。テーマを明確にした方法で実施できるようにしてほしい。</p> <p>【回答欄】 〈高齢福祉課〉 鷗盟大学は、高齢者の学習活動を推進し、老後の生きがいの増進を図ることを目的として、昭和51年から実施している。例年、学生の男女比は同数であり、授業において男女共に料理や芸術活動に親しむ機会を設けている。今後も男女共同参画社会の実現に寄与するような授業を継続すると共に、学生募集の広報等においてPRを図ってまいりたい。</p>	高齢福祉課 社会教育課

	<p>〈社会教育課〉</p> <p>公民館講座は、地域の特性や住民の要望等を勘案し企画・運営している。男女が主体的に公民館に集い、各種講座に参加して、対等なパートナーとして尊重しあうことにより、男女共同参画社会の実現に寄与しているものと考えている。今後とも、魅力ある講座の企画・運営に努めてまいりたい。</p>	
6	<p>【P18「男女がともに活躍できる環境づくり」注目指標】</p> <p>第6次総合計画ではここに該当する部分の注目指標に「一方の性の構成比率が3割未満の審議会数」がある。</p> <p>今回の男女共同参画基本計画にも入れてはどうか。</p> <p>また、同じく第6次総合計画の「女性活躍プロジェクト」のプロジェクト指標に「ワーク・ライフ・バランス」という用語の周知度がある。これも今回のものに入れてはいかがか。</p> <p>【回答欄】</p> <p>注目指標の登載については、検討してまいりたい。</p>	市民連携推進課
7	<p>【P22 No.31～32】</p> <p>「性別にとらわれない職員の登用」と「男性職員の配偶者出産休暇及び育児参加休暇の取得促進」の対象は市役所職員など公務員ということか？行政が率先してこのような取り組みをするのはとてもいいと思う。もし、企業なども含まれるなら、「職員」以外に「従業員」「社員」など別の表現も加えたほうがいいのではないか。</p> <p>【回答欄】</p> <p>No.31、No.32ともに、市職員を対象としたものである。この事業に企業などは含まれていないが、各企業等においても、女性活躍推進法に基づき、女性の活躍推進に向けた一般事業主行動計画を策定している。</p>	市民連携推進課
8	<p>【P25 ダブルケア（子育てと介護の両方を同時に担う）について】</p> <p>ここでは子育てと介護が個別に書かれているが、少子高齢化が進む中、晩婚化・晩産化に伴い、働き盛り世代に子育てと介護の同時必要性が増加することが予想されている。ダブルケアの状態でも働き続けられるような制度づくり、支援（横断的な包括支援）、相談体制を整えてほしいと思った。</p> <p>【回答欄】</p> <p>〈こども未来課〉</p> <p>現状では、市の専門部署が連携しながら各種相談に応じており、今後、ダブルケア世帯に対する必要な支援について研究して参りたい。</p>	こども未来課 高齢福祉課 介護保険課
9	<p>【P28 No.74～78】</p> <p>介護保険の事業はすでに、介護保険課で実施していると思うが、男女共同参画の視点がはっきりと盛り込まれているとは、あまり感じない。男女共同参画の視点も盛り込む、きちんと明文化したほうが良いのではないか。</p> <p>【回答欄】</p> <p>介護保険は、介護を必要とする人とその家族を支える制度であり、少子高齢社会の進展により、介護はすでに男女問わず全ての人にかかわる問題となっていると考えることから、このような内容としている。</p>	介護保険課